

かきのき

2024年2月号



- ◇ あなたのギモン 図書館の本が解決します！
- ◇ 柿木図書館に新しく入った図書
- ◇ 予約の多い本・2023年 年間 Best 20！
- ◇ 今月の展示のご案内

杉並区立柿木図書館
杉並区上井草 1-6-13 ☎03-3394-3801

杉並区立図書館ホームページ

<https://www.library.city.suginami.tokyo.jp/>



あなたのギモン 図書館の本が解決します！

どうして“柿木図書館”
という名前になったの？



【区名の由来】

まず、杉並区の名前の由来ですが、江戸時代の初期に、成宗・田畑両村の領主であった岡部氏が境界の印として、青梅街道に杉の木を植えたのがはじまりといわれています。この杉並木は、江戸時代にはかなり有名で、文化・文政の頃の「江戸近郷図」には村名と並んで青梅街道上には「杉並」という地名が記されています。1889年(明治22年)に馬橋・阿佐ヶ谷・天沼・田端・成宗・高円寺の6村が合併し、「杉並」が新しい村名になりました。その後、大正13年に村から町になりました。

そして、1932年(昭和7年)に、豊多摩郡の井荻・和田堀・高井戸・杉並の4町が合併して、東京府東京市杉並区が誕生しました。

【井草の由来】

次に井草地域の地名について見ていきましょう。上井草村と下井草村は、江戸時代の初めには一つの村で、武州多摩郡井草村と呼ばれていました。正保年間(1645年頃)に上・下に分かれました。京都に近い西側は上井草村、遠い東側は下井草村と名付けられ、地元住民は、上井草村を^{おそのい}遅野井村、下井草村はもとの通り井草村と呼んでいました。

井草村の地名の起こりについては、大昔、善福寺・妙正寺池周辺の低湿地に^{いぐさ}藨草が生えていたからという説と、池の草と呼ばれた葦が生い茂っていたので、池の草から「いぐさ」地名が生まれたという説があります。

【柿木の由来】

「柿ノ木」の地名の由来も二つの説があり、ひとつめは、この地に村を代表するような大きな柿の木があったためという説です。そして、もうひとつが、江戸時代の初期に野生の柿の木が生えていた柿の木山(現在の井草の森公園付近)が、将軍家のご猟場となり、住民は井草川(現在は暗渠になっています)の南岸に移住させられました。

柿の木山の住民が住んでいた土地であったため、この名がついたというものです。明治に入ると小字柿ノ木となり、昭和7年には杉並区誕生とともに町名として「柿ノ木町」になりました。これは昭和38年に現在の住居表示の「上井草」と「今川」に変更されるまで使われました。「柿木図書館」という名前もこの由緒ある地名をとったものということになります。

【マメガキについて】


柿木図書館の入り口にはマメガキの大きな木があり、児童向けのおたよりのタイトルにもなっています。この木は、柿の木のかなかまですが、実が一般的な大きなものではなく豆のような小さいものがたくさんなるので、マメガキといえます。熟すると黒紫色になり、霜の降りる時期に食べ頃となり、小鳥の餌にもなります。むかしはこの一帯の農家では、どの家でも庭先にマメガキを植えて柿渋を作り、それを板塀、農具の柄などに防腐剤として塗ったり、接木などにも利用していましたが、いまではほとんどみかけることのない珍しい木となりました。このマメガキは柿木図書館のシンボルとしてふさわしく、いつまでも大きく育ててほしいものです。マメガキの花言葉は、「永遠の愛」、「幸せな家庭」です。



ここ数年、残念ながら柿木図書館のマメガキは実をつけることはなくなりました。現在でも、柿木図書館からまっすぐ井荻駅方面に進んだところにある「柿木公園」で、花を咲かせ、実をつけている姿を見ることができます。

参考文献：S11.21モ『杉並風土記』森 泰樹 杉並郷土史会
S11.21モ『杉並区史探訪』森 泰樹 杉並郷土史会
S11.70フ『文化財シリーズ 杉並の地名』杉並区教育委員会

●柿木図書館に新しく入った図書●




『台湾の本音』 302 /
野嶋 剛／著 光文社 2023.12

先月、1月 13 日に民進党の頼清徳氏が当選し、台湾の中国への向き合い方が争点となった総統選挙が終わりました。

台湾は国なのか、台湾は親日なのか。台湾有事は起こるのか。

基礎の基礎から台湾の本音に迫ります。

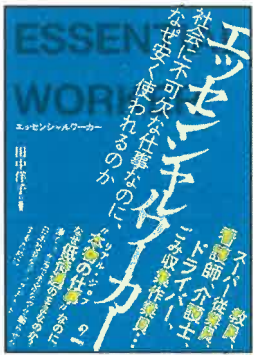


『つながるための言葉』 361.4 カ
勝浦 雅彦／著 光文社 2022.1

コピーライターの著者が、言葉を使った様々な表現について解説します。

どうして言葉で表現するのか、表現する目的は、伝えようとする自分は何なのか、場面ごとに表現する側の心構えを考えます。

つながりのない時代だからこその一冊。



『エッセンシャルワーカー』 366 夕
田中 陽子／編著 旬報社 2023.11

エッセンシャルワーカーとは日常生活でなくてはならない、医療、ごみ処理、食糧供給などなどの多岐にわたる社会機能の維持者です。

コロナ禍でその重要性が注目されたにもかかわらず、その処遇は悪いまです。

日本社会の構造に改革は起こるでしょうか。

～予約の多い本・2023年 年間 Best20!～

今月は、図書館の2023年 年間Best20を出してみました。
<期間(1/1-12/31) 児童書は除く>

順位	書名	著者名	予約数
1	汝、星のごとく	凧良 ゆう	1,559
2	街とその不確かな壁	村上 春樹	1,084
3	くもをさがす	西 加奈子	1,017
4	あなたが誰かを殺した	東野 圭吾	983
5	魔女と過ごした七日間	東野 圭吾	899
6	黄色い家	川上 未映子	895
7	木挽町のあだ討ち	永井 紗耶子	815
8	君のクイズ	小川 哲	789
9	母という呪縛 娘という牢獄	斎藤 彩	775
10	ハンチバック	市川 沙央	745
11	成熟スイッチ	林 真理子	656
12	可燃物	米澤 穂信	649
13	地図と拳	小川 哲	595
14	変な家 [1]	雨穴	585
15	成瀬は天下を取りにいく	宮島 未奈	568
16	光のところにいてね	一穂 ミチ	545
17	墨のゆらめき	三浦 しをん	544
18	真珠とダイヤモンド 上	桐野 夏生	529
19	この夏の星を見る	辻村 深月	521
20	極楽征夷大將軍	垣根 涼介	512

予約の多い本のランキングは図書館のホームページでもご覧いただけます>

～伝来から150年余を経た日本の野球史と、
杉並との関わりを語る～

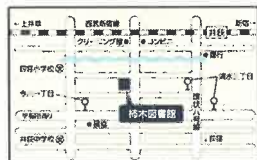


日時：令和6年2月25日(日)
午後2時～4時

講師：森泉海氏(杉並区立郷土博物館学芸員)

平成24年より杉並区立郷土博物館勤務。
近現代史担当学芸員として貞明皇后展、萩外荘展などを担当。
高校時代に初めて甲子園で高校野球を観戦し、その熱気に感動して以来、毎年足を運んでいる。令和2年には念願の杉並と高校野球の展示を企画。自身も野球経験あり。

会場：杉並区立柿木図書館
地下講座室



定員：25名 対象：中学生以上

申込：申込順 2月1日(木)午前9時から

図書館窓口または電話(03-3394-3801)にて

杉並区立柿木図書館 〒167-0023杉並区上井草1-6-13 ☎03-3394-3801

☆今月の展示のご案内☆

◇一般展示◇



「京都を読む ～あなたのお薦めの本を教えてください～」



いにしえの都、京都。訪れる人を魅了し続けるこのまちは、時代を越えて数多くの小説の舞台になってきました。そんな京都にまつわる本を集めました。皆さんのお薦めの本もぜひ、教えてください。

期間：2月6日(火)～3月31日(日)

場所：2階フロア



◇重点課題・展示◇

「今年こそ!!!」



新しい年になり、健康のために何か始めてみようと考えている方もいるのではないかと思います。

そこで今回は、健康づくりに役立つ本を揃えました。

どうぞ、お越してください。

期間：3月3日(日)まで

場所：1階ロビー



◇YA展示◇

がんばれ!
受験生



勉強に役立つ本と、
ホッと一息つける
本を集めました。



桜のふせんに
メッセージを
書いて
応援しよう

期間：3月3日(日)まで

場所：2階YAコーナー



柿木図書館カレンダー



2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
<u>4</u>	5	6	7	8	9	10
<u>11</u>	<u>12</u>	13	14	15	16	17
<u>18</u>	19	20	21	22	<u>23</u>	24
<u>25</u>	26	27	28	29		

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
<u>3</u>	4	5	6	7	8	9
<u>10</u>	11	12	13	14	15	16
<u>17</u>	18	19	<u>20</u>	21	22	23
<u>24</u> <u>31</u>	25	26	27	28	<u>29</u>	30



…休館日

赤数字

…午後5時閉館

【開館・貸出時間】

月曜 ～ 土曜 … 午前9時～午後8時

日曜 ・ 祝日 … 午前9時～午後5時

【休館日】

第1月曜日・第3木曜日

年末年始 (12/31～1/4)